

さいたま市文化財時報

かや 榎りぼーと

第50号

さいたま市の遺跡

最新の発掘調査・確認調査「南鴻沼遺跡と真福寺貝塚」

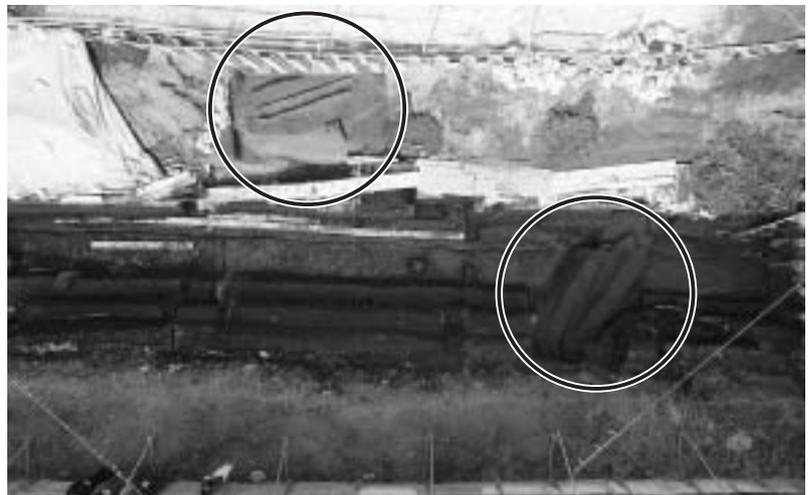
遺跡とは私たちの祖先が生活していた痕跡で、地中に残されている「住居跡」「貝塚」などがあります。また、「古墳」や「塚」、「城跡」など直接目にすることができるものもあります。その時代は旧石器時代から縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代、中世、近世など長きにわたって形成されてきました。これらの遺跡は「埋蔵文化財包蔵地」として周知されており、現在さいたま市には1,133カ所の埋蔵文化財包蔵地が所在しています。ここでは、近年これらの遺跡において実施された発掘調査・確認調査のうち、特に成果のあった「南鴻沼遺跡」と「真福寺貝塚」について紹介します。

縄文時代の遺跡の多くは台地上に営まれています。そこでは住居跡や貝塚などが残されています。また、低地部分には、泥炭層が形成されている遺跡があります。国指定史跡に指定されている岩槻区の真福寺貝塚や、中央区の南鴻沼遺跡などでその存在が明らかになっています。

南鴻沼遺跡の発掘調査

南鴻沼遺跡は JR 埼京線中浦和駅から北に約600mの低地にあります。この発掘調査は、道路の建設に先立ち、平成23年度から24年度にかけて行われました。

調査は東と西の2区に分けて行い、平成23年度に東側の調査区から着手し、平成24年度には主に西側の調査区で実施しました。東側の調査区では縄文時代中期末から後期にかけての水場遺構が検出されました。また、櫂(オール)や木製容器の未製品、漆の入った土器の出土は、木や漆の加工場所の存在をうかがわせます。他にも編組製品などが出土しました。西側の調査区ではクリ・トチノキの実の集中個所、縄文時代晩期と思われる杭列が発見されました。また、丸木舟が3艘、柄の付いた石鏃、漆塗りの櫛、丸木弓などが出土しました。台地上の遺跡の調査ではなかなか残らない、こうした貴重な遺構・遺物が多く発見され、

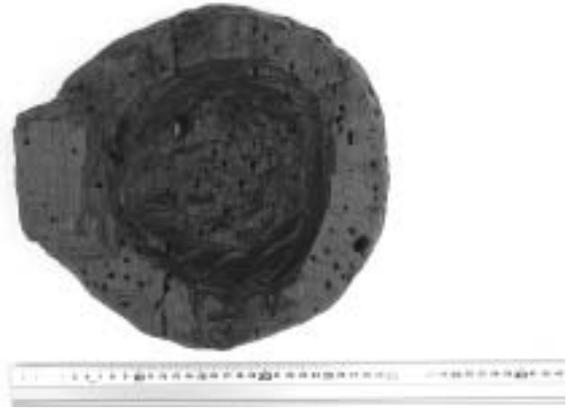


▲丸木舟の出土(丸印の部分)

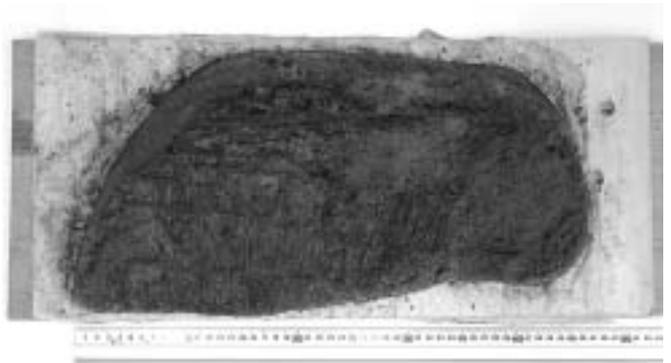
今後実施される遺物の分析などにより、さらに様々なことが明らかになると思われます。



▲第3号丸木舟



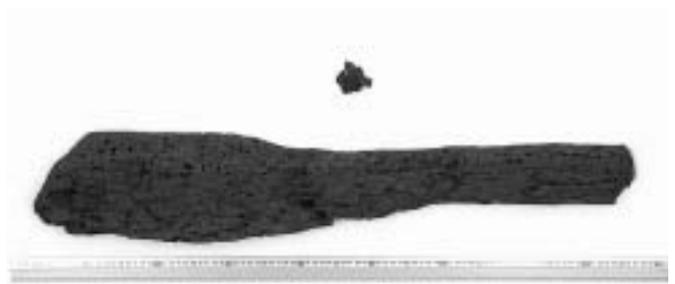
▲木製容器未製品



▲編組製品



▲漆器(椀)



▲櫛状未製品

真福寺貝塚の確認調査

真福寺貝塚は東武野田線岩槻駅から南東に約1.6kmのところを位置し、綾瀬川の低地から入り込む小さな谷に面して所在します。縄文時代後期から晩期にかけて営まれた貝塚を伴う集落跡です。遺跡は低地部分とそれを取り囲む台地部分から形成されています。台地部分の集落跡には住居跡や貝塚が分布し、土器・土偶・耳飾などの土製品、石器、石製品などが出土するとともに、貝塚には貝・獣骨・魚骨などが残されています。低地部分の泥炭層には木製品、木の実などの植物性の遺物などが残されています。

また真福寺貝塚では大正時代から昭和40年にかけて学術目的の発掘調査が繰り返し行われました。学史的な価値も高い遺跡として知られており、遺跡の中心部は国の史跡に指定されています。

真福寺貝塚では、将来の史跡整備に向けて平成23年度から史跡周辺部で確認調査を実施しています。

平成23年度の確認調査は、史跡の西側で低地に面した台地上で実施しました。良好な縄文時代の遺物包含層や土坑などの遺構が検出され、縄文時代後期から晩期の土器が多く出土しました。平成24年度の確認調査は、主に史跡の東側で実施しました。この調査では、土坑が数基検出され、そのうちの1基では焼土の集中箇所が



▲確認調査の位置

検出されました。遺物は細片ではあるものの、縄文時代の土器が出土しました。環状盛土と考えられている高まりが、史跡東側の今回の調査地点まで伸びていないこと、また貝層も分布していないことが確認されましたが、土坑等が検出されたことにより集落としての広がり確認することができました。

この確認調査は今年度も実施を予定しており、真福寺貝塚における遺構等の分布が明らかになり、さらに詳細な遺跡の様子を知ることができると思われます。

TOPICS

最新出土品展 開催中 見学無料

最新の発掘調査の成果を、出土品等で紹介しています。さいたま市立博物館(9月10日(火)～9月23日(月・祝))での展示を終え、今後は下記の日程で市内を巡回します。※会場によって展示資料が若干変わります。

会場	期間	時間
プラザノース 1階アトリウム (☎653-9255)	10月1日(火)～10月18日(金)	9時～21時30分
プラザウエスト 1階アトリウム (☎858-9080)	10月22日(火)～11月1日(金)	
プラザイースト エントランス (☎875-9933)	11月6日(火)～11月15日(金)	
岩槻郷土資料館 (☎757-0271)	11月19日(火)～12月1日(日) 休館日25・26日	9時～16時30分
中央図書館 展示ギャラリー (☎871-2173)	12月3日(火)～12月15日(日)	9時～21時(月～金) 9時～18時(土・日)

福島からこんにちは

～東日本大震災復旧・復興支援派遣職員レポート
(平成25年度・第2回)～

海岸沿いの被災地は、地震による地盤沈下のため、多くの場所が耕作に適さなくなっています。こうした土地を元の田畑に戻すため、多くの土を盛って地盤を高くする予定です。

土を遠くから運ぶのは多くの費用がかかるため、なるべく近くの丘陵地で必要な土を用意したいのですが、浜通りの海沿いの丘陵には、海岸で採れる砂鉄を使って行なわれていた製鉄に係わる遺跡などが多く残されています。このため、土取りに先だって、丘陵内の遺跡の分布調査、試掘・確認調査が不可欠です。

重機や車両が入れないため、こうした調査は主に人力で行っています。今夏は、遅めの梅雨や猛暑で厳しい調査環境でしたが、土取りの計画と遺跡の保存の両立を図るべく調査を進めています。



▲相馬市内の土取り予定地での確認調査

(文化財保護課 埋蔵文化財係 主任 橋本 玲未)

さいたま市内指定無形民俗文化財の公開カレンダー (平成25年10月～平成26年1月)

天候などにより日程が変更することもありますので、詳しくはさいたま市の Web ページをご覧ください。見学無料。文化財保護課(☎829-1723)までお問合せください。

名 称	日 時 ・ 場 所 ・ 内 容
田島の獅子舞 (市指定)	10月6日(日) 15時～ 田島氷川社(桜区田島4-12-1) 16時～ 四谷稻荷社(南区四谷3-7-34) 3頭の獅子が笛の音にあわせ、太鼓を打ちながら優美に舞います。
南部領辻の獅子舞 (市指定)	10月13日(日)13時～、15時～ 鷲神社(緑区大字南部領辻2914) 別名「竜頭の舞」。三頭の獅子による勇壮な獅子舞です。
岩槻の古式土俵入り 〔釣上地区〕(国指定)	10月20日(日) 13時～ 神明社(岩槻区大字釣上220) 男子の健康と成長を願い、子どもたちが土俵入りを奉納します。
一山神社冬至祭 (市指定)	12月22日(日) 14時～ 一山神社(中央区本町東4-10-14) 一年間の穢れを祓い、新年の無病息災を願う火渡りを行います。
指扇の餅搗き踊り (市指定)	1月1日(祝) 0時～ 五味貝戸自治会館(西区大字指扇291) 餅搗き踊りや万作踊りを公開します。
日進餅つき踊り (市指定)	1月1日(祝) 0時～ 日進神社(北区日進町2-1194) 年明けの鐘とともに始まる餅つき踊りです。

さいたま市文化財時報

榎りぼーと

第50号

平成25年9月30日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
☎048-829-1723 ㊚048-829-1989
<http://www.city.saitama.jp/>